

連絡先 自動車局審査・リコール課リコール監理室
 TEL. 03-5253-8111 内線42354
 アドレス : http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日 : 平成25年12月25日

リコール届出番号	3275	リコール開始日	平成25年12月25日		
届出者の氏名または名称	ヤンマー株式会社 代表取締役社長 山岡 健人 <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td>問合せ先 : 品質保証部</td> </tr> <tr> <td>TEL. 06-6376-6347</td> </tr> </table>			問合せ先 : 品質保証部	TEL. 06-6376-6347
問合せ先 : 品質保証部					
TEL. 06-6376-6347					
不具合の部位(部品名)	始動装置(スタータリレー)				
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	エンジン始動装置のリレーの設置位置が、エンジン冷却風の風速が速い位置であるため、砂地等粉塵の多い環境で作業する場合に巻き上げられた砂がリレー内部に侵入することがある。そのままの状態で使用を続けると電気接点部分に、けい素の酸化皮膜が生成され通電しなくなりエンジンの始動ができなくなるおそれがある。				
改善措置の内容	全車両、リレーとハーネスの接合部に砂成分の侵入を防止するため、テープ巻きを実施し、風速の低い位置に取付位置を変更する。				
不具合件数	126件	事故の有無	無		
発見の動機	市場からの情報による				
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者 : ユーザーを把握しており直接電話等で通知する。 ・自動車分解整備事業者 : ユーザーを把握しているため周知のための措置は取らない。 ・改善実施済車には、運転席後部に貼付されているシリアルナンバーラベルの横に No. 3275のステッカーを貼付する。 				

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤンマー	EDM-34L	「EG326Y」	34L-090101～34L-090276 平成22年4月6日～平成22年10月12日	176	
		「EG328Y」	34L-080101～34L-080254 平成22年4月5日～平成22年10月13日	154	
		「EG330Y」	34L-070101～34L-070570 平成22年4月8日～平成22年10月13日	470	
		「EG334Y」	34L-060101～34L-060519 平成22年4月2日～平成22年10月13日	419	
	(計1型式)	(計4車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成22年4月2日～平成22年10月13日	(計1219台)	

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。